

地方公共団体	高知県梶原町
所在地	高知県高岡郡梶原町梶原1444-1
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	・次世代へより良い環境を引き継ぐ社会 脱炭素社会の実現に向け、自然エネルギーによる町づくりに挑戦し続け、町内で使う電力を再生可能エネルギーにし、2050年に電力の再生可能エネルギー自給率100パーセント実現を目指し取り組みます。
地域の現状・課題	(現状) 梶原町は、高知県北西部、愛媛県との県境に位置する人口3,448人(令和2年4月末時点)の中山間地域です。町の総面積の91%が森林である当町は、源流域の山村の使命を果たすため、風力発電施設や太陽光発電施設の設置に加え、林内に放置されている未利用林地残材等をペレット化し、化石燃料の代替利用とするなど、CO2排出削減に努めています。 (課題) 人口のうち高齢化率が45%を超える中、次世代へ続く持続可能なまちづくりが課題です。前述の再生可能エネルギー事業は、FIT制度が始まる前から実施されてきたため、老朽化に伴う発電施設の建て替え、卒FIT電力の販売、またFIT制度の改定による電力販売の確保等、再エネ事業の継続や拡大には課題が出ています。また、再生可能エネルギーの地産地消も課題となっています。 また、その課題に対し、地域循環共生圏の他地域でも存在感が強くなっている“地域新電力”を我が町でも検討し、再エネ事業の継続/拡大にどのような役割が持てるのか、また、地域経済や町民に対しどのような効果が期待できるのかを調査検討したいと考えています。
地域が持つ資源	豊かな自然資源を活用し、町営風力発電所1.2MWをはじめ、町営小水力発電所や公共施設への太陽光発電施設の設置、家庭用太陽光発電への補助等、現状では消費量の28.1%に相当する再エネ発電を行っています。町の総面積のうち91%ある森林資源を活用し、ペレット製造等町産材のエネルギー利用なども行っています。

地方公共団体	高知県梶原町
所在地	高知県高岡郡梶原町梶原1444-1
取組内容	環境対策への取り組みとして、自然エネルギーを活用した低炭素なまちづくりを進めています。四国カルストに設置した風車の利益により、太陽光発電設置補助を行い町内約10戸に1戸の割合での普及とCO2吸収源たる森林の約6千ヘクタールにわたる整備をもたらしました。また、公民協働での木質ペレット生産は新たな資源循環の仕組みをつくりました。林内に放置されている未利用林地残材等をペレット化し、化石燃料の代替利用することでCO2排出削減に努めています。
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	(環境) 当町で目標としている温室効果ガス排出量(2050年70%削減)、2050年の再エネ自給率100%を実行します。また、再生可能エネルギーを環境教育のテーマとして取り扱うとともに、県内や他地域からの来訪者へ啓蒙活動を行い、地域資源を活用したローカルSDGsの普及啓発につなげます。
	(経済) 再生可能エネルギーのこれまで以上の推進により域外に流出していた電気代が内部で循環します。また、地域新電力会社の設立・運用により地域住民の雇用が生まれます。
	(社会) 地域内のエネルギーの構造変革と地域内自給により、自立する地域社会としての低炭素社会をつくります。





公共施設太陽光発電設備



小水力発電施設



風力発電施設



木質ペレット工場